令和5年度 評価規準 学校名:江戸川区立西小岩小学校

教科	算数	学年	第 1 学年
	2. 22.		,

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
1. なかまづくりと かず	〇10 までの数について、個数の比べ	O10までの数について、1対1	〇数のまとまりに着目し、数	〇数の比べ方を考えた過程や
	方や数の読み方、書き方。数の構成	対応により集合の要素の個数	の大きさの比べ方や数え方を	結果を振り返り、そのよさや楽し
	などを理解し、数のまとまりに着目し	を比べる方法や数の読み方、	考え言葉やブロックなどを用	さを感じながら学ぼうとしてい
	て数の大きさの比べ方や数え方を考	書き方、数の構成などを理解	いて表現したり、数の構成に	న 。
	える力及び数の構成に着目して数を	し、集合の要素の個数を比べ	着目し、一つの数をほかの 2	
	多面的に捉える力を養うとともに、数	たり、数を正しく数え数字を読	つの数の和や差として捉え言	
	に親しみ、数で表すこと及び比べるこ	んだり書いたり、数の合成、分	葉や半具体物などを用いて	
	との良さや楽しさを感じながら学ぶ態	解をしたりすることができる。	表現したりしている。	
	度を養う。			
2. なんばんめ	〇数を用いた順序の表し方を理解し、	〇数を用いた順序や位置の表	〇数を順序や位置を表すも	〇数を用いて順序や位置を考
	基点に着目して順序を考える力を養	し方を理解し、数を用いて順序	のとしてみて、基点に着目し	えた過程や結果を振り返り、そ
	うとともに、数を用いて順序を表すこと	や位置を表すことができる。	て順序や位置を考え、数を用	のよさを感じながら学ぼうとして
	のよさを感じ、日常生活に活用しよう		いて順序や位置を表現してい	いる。
	とする態度を養う。		る。	
3. あわせて いくつ ふ	〇加法の意味と和が 10 以内の加法	〇合併や増加など、加法が用	〇加法の意味に着目し、合併	〇加法の意味や加法計算の仕
えると いくつ	計算の仕方を理解し、数量の関係に	いられる場合について知り、加	や増加などの場面を加法の	方について、数構成や操作など
	着目して加法の意味や加法計算の仕	法の意味を理解し、和が 10 以	式に表し、その計算の仕方を	を用いて考えた過程や結果を振
	方を考える力を養うとともに、加法の	内の加法計算ができる。	1位数の構成や操作などを用	り返り、そのよさや楽しさを感じ
	意味や加法計算の仕方を操作や式に		いて考え、表現している。	ながら学ぼうとしている。
	表して考えた過程を振り返り、そのよ			
	さを感じ、日常生活に活用しようとす			
	る態度を養う。			

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識·技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
4. のこりは いくつ ちが	〇減法の意味と被減数が 10 以内の	〇求残や求補、求差など、減法	〇減法の意味に着目し、求残	〇減法の意味や減法計算の仕
いは いくつ	減法計算の仕方を理解し、数量の関	が用いられる場合について知	や求補、求差などの場面を減	方について、数構成や操作など
	係に着目して減法の意味や減法計算	り、減法の意味を理解し、被減	法の式に表し、その計算の仕	を用いて考えた過程や結果を振
	の仕方を考える力を養うとともに、減	数が 10 以内の減法計算が確	方を数の構成や操作などを	り返り、そのよさや楽しさを感じ
	法の意味や減法計算の仕方を操作や	実にできる。	用いて考え、表現している。	ながら学ぼうとしている。
	式に表して考えた過程を振り返り、そ			
	のよさを感じ、日常生活に活用しよう			
	とする態度を養う。			
5. どちらが ながい	〇長さの比較などの活動を通して、長	〇長さについての基礎的な意	〇身の回りにあるものの長さ	〇身の回りにあるものの長さに
	さや測定についての基礎的な意味を	味や、比較の方法、任意単位	に着目して、直接比較や関節	関心をもち、比較の方法を工夫
	理解し、身の回りにあるものの長さに	による測定の方法を理解し、長	比較、任意単位による長さの	した過程や結果を振り返り、そ
	ついて任意単位などにより比較する	さについての基礎的な感覚を	比べ方を考えたり、任意単位	のよさや楽しさを感じながら学ぼ
	力を養うとともに、長さについての感	身につけ、直接比較や関節比	により長さを数値で表したりし	うとしている。
	覚を豊かにし、日常生活に活用しよう	較、任意単位による測定などに	ている。	
	とする態度を養う。	よって、長さを比べることがで		
		きる。		
6. わかりやすく せいり	〇ものの個数について簡単な絵や図	〇ものの個数を種類ごとに分	〇データの個数に着目し、身	〇簡単な絵や図を用いて、デー
しよう	に表す方法を理解し、データの個数を	類整理し、簡単な絵や図を用	の回りの事象について簡単な	タの個数を表したりその特徴を
	簡単な絵や図に表し、それらの特徴	いて表したり読み取ったりする	絵や図を用いて特徴を捉え	捉えたりした過程や結果を振り
	を読み取る力を養うとともに、簡単な	ことができる。	ている。	返り、そのよさや楽しさを感じな
	絵や図を用いてデータの個数を表し			がら学ぼうとしている。
	たり、とらえたりしたことを振り返り、日			
	常生活に活用しようとする態度を養			
	う。			

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
7.10 より おおきい か	〇40 までの数について、個数の数え	〇40 までの数について、個数	〇10 のまとまりに着目し、40	〇数の構成を活用して数の数え
<i>ਚੱ</i>	方や数の読み方、書き方、数の構成	の数え方や数の読み方、書き	までの数の数え方や読み方、	方や加減計算の仕方を考えた
	などを理解し、10 をひとまとまりにし	方、数の構成や大小などを理	書き方を考え、言葉やブロッ	過程や結果を振り返り、そのよさ
	て数の数え方などを考える力及び数	解し、40までの数を数え数字を	クなどを用いて表現したり、数	や楽しさを感じながら学ぼうとし
	の構成に着目して数の計算の仕方を	読んだり書いたり、20 までの数	の構成や既習の計算を活用	ている。
	考える力を養うとともに、数で表すこと	の構成を加法や減法の式に表	して、20 までの数の繰り上が	
	のよさを感じ、日常生活に活用しよう	すことができる。	りや繰り下がりのない加減計	
	とする態度を養う。		算の仕方を考え、言葉やブロ	
			ックなどで表現したりしてい	
			వ 。	
8. なんじ なんじはん	〇何時、何時半の時刻の読み方を理	〇何時、何時半の時刻の読み	〇短針と長針の関係を捉え	〇時刻に関心をもち、そのよさ
	解し、時計の短針と長針の関係を基	方を理解し、何時、何時半の時	て、それぞれの針の位置を基	や楽しさを感じながら学ぼうとし
	に時刻の読み方や表し方を考える力	刻を読んだり、時計で表したり	に時刻の読み方を考え、表現	ている。
	を養うとともに、それらを日常生活に	することができる。	している。	
	活用しようとする態度を養う。			
9.3 つの かずの けい	O3 つの数の加減計算の仕方を理解	○3 つの数の加減計算の場面	O2つの数の加法や減法を基	〇3 つの数の加減計算につい
さん	し、3つの数の加減計算の仕方を操作	を1つの式に表せることを理解	にして、3 つの数の加減計算	て、式の表し方や計算の仕方
	や式を用いて考える力を養うととも	し、その計算が確実にできる。	の式の表し方や計算の仕方	を、操作や図を用いて考えた過
	に、3 つの数の加減計算の式の表し		を、操作や図を用いて考え表	程や結果を振り返り、そのよさや
	方や計算の仕方を考えた過程を振り		現している。	楽しさを感じながら学ぼうとして
	返り、そのよさや楽しさを感じながら学			いる。
	ぼうとしている。			

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
10. どちらが おおい	〇体積の比較などの活動を通して、	〇体積についての基礎的な意	〇身の回りにある入れ物に入	○身の回りにある入れ物に入る
	体積とその測定についての基礎的な	味や、保存性、比較の方法、任	る水の体積に着目して、直接	水の体積に関心をもち、比較の
	意味を理解し、身の回りにあるものの	意単位による測定の方法を理	比較や間接比較、任意単位	方法を工夫した過程や結果を振
	体積について任意単位などにより比	解し、体積についての感覚を身	による体積の比べ方を考えた	り返り、そのよさや楽しさを感じ
	較する力を養うとともに、体積につい	につけ、直接比較や間接比較、	り、任意単位により体積を数	ながら学ぼうとしている。
	ての感覚を豊かにし、日常生活に活	任意単位による測定などによっ	値で表したりしている。	
	用しようとする態度を養う。	て、身の回りにある入れ物に入		
		る水の体積を比べることができ		
		る 。		
11. たしざん	○1 位数どうしの繰り上がりのある加	O1 位数どうしの繰り上がりの	〇10 のまとまりに着目し、1	O1 位数どうしの繰り上がりのあ
	法計算の仕方を理解し、計算の仕方	ある加法計算が、「10 といくつ」	位数どうしの繰り上がりのあ	る加法計算の仕方について、
	を操作や図を用いて考える力を養うと	という数の見方を基にしてでき	る加法計算の仕方を、操作や	「10 といくつ」という数の見方や
	ともに、計算の仕方を操作や図を用	ることを理解し、その計算が確	図を用いて考え、表現してい	操作、図などを用いて考えた過
	いて考えた過程や結果を振り返り、そ	実にできる。	る 。	程や結果を振り返り、そのよさや
	のよさを感じ、今後の学習や日常生			楽しさを感じながら学ぼうとして
	活に活用しようとする態度を養う。			いる。
12. かたちあそび	○身の回りにあるものの形について、	○身の回りにあるものの形につ	〇身の回りにあるものの形に	〇身の回りにあるものの形につ
	基本的な立体図形の特徴や機能を捉	いて、その概形や特徴、機能を	着目し、図形の特徴や機能を	いて、観察や構成、分解したり、
	え、立体図形についての理解の基礎	捉えたり、構成や分解をしたり	捉えたり、構成や分解をした	形の特徴や機能を捉えたりした
	となる感覚を豊かにしながら、立体図	するとともに、図形についての	りして、表現している。	過程や結果を振り返り、そのよさ
	形の形に着目して特徴や機能を捉え	豊かな感覚をもっている。		や楽しさを感じながら学ぼうとし
	たり、構成や分解を考えたりする力を			ている。
	養うとともに、それらを日常生活に活			
	用しようとする態度を養う。			

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
13. ひきざん	○11~18 から 1 位数を引く繰り下が	○11~18 から 1 位数を引く繰	〇数の構成に着目し、11~	○11~18 から 1 位数を引く繰り
	りのある減法計算の仕方を理解し、計	り下がりのある減法計算が、	18 から 1 位数を引く繰り下が	下がりのある減法計算の仕方に
	算の仕方を操作や図を用いて考える	「10 といくつ」という数の見方を	りのある減法計算の仕方を操	ついて、「10 といくつ」という数の
	力を養うとともに、計算の仕方を操作	基にしてできることを理解し、そ	作や図を用いて考え、表現し	見方や操作、図などを用いて考
	や図を用いて考えた過程を振り返り、	の計算が確実にできる。	ている。	えた過程や結果を振り返り、そ
	そのよさを感じ、今後の学習や日常生			のよさや楽しさを感じながら学ぼ
	活に活用しようとする態度を養う。			うとしている。
14. おおきい かず	〇2位数や簡単な3位数について、個	O2位数や簡単な3位数につい	〇既習の数の表し方の仕組	〇数の構成を活用して数の数え
	数の数え方や数の読み方、書き方、	て、個数の数え方や数の読み	みを基に、120 程度までの数	方や加減計算の仕方を考えた
	数の構成などを理解し、10を単位とし	方、書き方、数の構成や大小な	の数え方や読み方、書き方を	過程や結果を振り返り、そのよさ
	て数を捉える力及び数の構成に着目	どを理解し、120 程度までの数	考え、言葉やブロックを用い	や楽しさを感じながら学ぼうとし
	して数の計算の仕方を考える力を養	を数え数字で読んだり書いた	て表現したり、数の構成や既	ている。
	うとともに、数で表すことのよさを感	り、2位数の構成を加法や減法	習の計算を活用して、簡単な	
	じ、日常生活に活用しようとする態度	の式に表すことができる。	場合の2位数の加減計算の	
	を養う。		仕方を考え、言葉やブロック	
			などで表現したりしている。	
15. どちらが ひろい	〇面積の比較などの活動を通して、	〇面積についての基礎的な意	〇身の回りにあるものの面積	〇身の回りにあるものの面積に
	面積とその測定についての基礎的な	味や比較の方法、任意単位に	に着目して、直接比較や任意	関心をもち、比較の方法を工夫
	意味を理解し、身の回りにあるものの	よる測定の方法を理解し、面積	単位による面積の比べ方を	した過程や結果を昼帰り、その
	面積について任意単位などにより比	についての基礎的な感覚を身	考えたり、任意単位により面	よさや楽しさを感じながら学ぼう
	較する力を養うとともに、面積につい	につけ、直接比較や任意単位	積を数値であらわしたりして	としている。
	ての感覚を豊かにし、日常生活に活	による測定などによって、身の	いる。	
	用しようとする態度を養う。	回りにあるものの面積を比べる		
		ことができる。		

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
16. なんじなんぷん	〇何時何分の時刻の読み方を理解	〇何時何分の時刻の読み方を	〇短針と長針の関係を捉え	〇時刻に関心をもち、そのよさ
	し、時計の短針と長針の関係を基に	理解し、何時何分の時刻を読	て、それぞれの針の位置を基	や楽しさを感じながら学ぼうとし
	時刻の読み方や表し方を考える力を	んだり、時計で表したりすること	に時刻の読み方を考えたり、	ている。
	養うとともに、それらを日常生活に活	ができる。	時計盤の目盛りに着目して長	
	用しようとする態度を養う。		針の読み方を工夫して考えた	
			りして、表現している。	
17. たしざんとひきざん	〇順序数や異種の数量を含む加減の	〇順序数や異種の数量を含む	〇数量の関係に着目し、順序	〇順序数や異種の数量を含む
	場面、求大や求小の場面についても	加減の場面、求大や求小の場	数や異種の数量を含む加減	加減の場面、求大や求小の場
	加減計算が適用できることを理解し、	面も加減の式に表せることを理	の場面、求大や求小の場面	面を図に表して問題を解決した
	数量の関係を図に表し計算の意味を	解し、問題を解決することがで	を図や式に表して考え、表現	過程や結果を振り返り、そのよさ
	考える力を養うとともに、加減の意味	きる。	している。	や楽しさを感じながら学ぼうとし
	を図に表して考えた過程を振り返り、			ている。
	そのよさを感じ、今後の学習に活用し			
	ようとする態度を養う。			
18. かたちづくり	○身の回りにあるものの形について、	○身の回りにあるものの形につ	○身の回りにあるものの形に	○身の回りにあるものの形につ
	基本的な平面図形の特徴を捉え、平	いて、その概形や特徴を捉え	着目し、図形の特徴を捉えた	いて、形の特徴を捉えたり、構
	面図形についての理解の基礎となる	中空のものも中実のものと同じ	り、いろいろな形を構成、分解	成、分解したりした過程や結果
	感覚を豊かにしながら、平面図形の	ように見られることを理解し、色	したりして、表現している。	を振り返り、そのよさや楽しさを
	形に着目して特徴を捉えたり、構成や	板や棒をならべていろいろなも		感じながら学ぼうとしている。
	分解を考えたりする力を養うとともに、	のの形を構成したり分解したり		
	それらを日常生活に活用しようとする	することができる。		
	態度を養う。			

		教科	算数	学年	第 2 学年
--	--	----	----	----	--------

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
千 儿石 			PR de distance de PR	> / / / 24 77
	(小単元のねらい)	知識・技能	思考•判断•表現	主体的に学習に取り組む態度
1. わかりやすく あらわ	〇簡単な表やグラフについて理解し、	〇身の回りにある数量を分類	〇データを整理する観点に着	〇身の回りにある事象に関心を
そう[グラフとひょう]	データを整理する観点を定め、簡単	整理し、簡単な表やグラフを用	目し、身の回りの事象につい	もち、表やグラフを用いて数学
	な表やグラフを通じて特徴を捉え、考	いて表したり読み取ったりする	て表やグラフを用いて考察し	的に表現・処理したことを振り返
	察する力を養うとともに、表やグラフ	ことができる。	ている。	り、数理的な処理のよさに気付
	を用いて数学的に表現・処理したこと			き今後の生活や学習に活用しよ
	を振り返り、今後の生活や学習に活			うとしている。
	用しようとする態度を養う。			
2. たし算の しかたを	O2 位数の加法の筆算の仕方につい	〇2 位数の加法計算が、1 位数	〇数の仕組みに着目し、2 位	O2位数の加法の筆算の仕方に
考えよう[たし算の ひっ	て理解し、筆算の仕方を図や式を用	などについての基本的な計算	数の加法計算の仕方を、図	ついて、図や式などを用いて考
算]	いて考える力を養うとともに、計算方	を基にしてできることを理解し、	や式などを用いて考え表現し	えた過程や結果を振り返り、数
	法を数学的表現を用いて考えた過程	その計算が確実にできるととも	ている。	理的な処理のよさに気付き今後
	を振り返り、そのよさに気付き今後の	に、その筆算の仕方について		の生活や学習に活用しようとし
	生活や学習に活用しようとする態度を	理解している。		ている。
	養う。			
3. ひき算の しかたを	O2 位数の減法の筆算の仕方につい	〇2 位数の加減計算が、1 位数	〇数の仕組みに着目し、2 位	O2位数の減法の筆算の仕方に
考えよう[ひき算の ひっ	て理解し、筆算の仕方を図や式を用	などについての基本的な計算	数の減法計算の仕方を、図	ついて、図や式などを用いて考
算]	いて考える力を養うとともに、計算方	を基にしてできることを理解し、	や式などを用いて考え表現し	えた過程や結果を振り返り、数
	法を数学的表現を用いて考えた過程	その計算が確実にできるととも	ている。	理的な処理のよさに気付き今後
	を振り返り、そのよさに気付き今後の	に、その筆算の仕方について		の生活や学習に活用しようとし
	生活や学習に活用しようとする態度を	理解している。		ている。
	養う。			

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
4. 長さを はかって あ	〇長さの測定などの活動を通して、単	〇長さについて単位と測定の	〇普遍単位の必要性に気付	〇身の回りにあるものの長さに
らわそう[長さのたんい]	位の意味と測定の原理を理解し、単	意味や、単位の関係、物差しの	き、身の回りのものの特徴を	関心をもち、量の感覚を身に付
	位を用いて的確に表現する力を養う	めもりの仕組みを理解し、およ	長さに着目して捉え、目的に	け、数学的に表現・処理したこと
	とともに、長さについての量の感覚を	その見当を付け長さの単位を	応じた単位で長さを的確に表	を振り返り、数理的な処理のよ
	身に付け、今後の生活や学習に活用	適切に選択して身の回りの物	現したり比べたりしている。	さに気付き今後の生活や学習に
	しようとする態度を養う。	の長さを測定したり、指定され		活用しようとしている。
		た長さの直線を引いたりするこ		
		とができる。		
5.100 より 大きい 数	O1000 までの数についてその意味	○3 位数について数の読み方	〇10 や 100 のまとまりに着目	〇10 や 100 のまとまりに着目し
を調べよう[3 けたの数]	や表し方を理解し、数の概念について	や表し方、数の構成や大小、順	し、十進位取り記数法の仕組	て数を調べた過程や結果を振り
	理解を深め、図や式を用いて考える	序、数の相対的な大きさを理解	みを考え表現したり、数を相	返り、数理的な処理のよさに
	力を養うとともに、十進位取り記数法	し、数を書いたり読んだり、数	対的な大きさからとらえたりし	気付き今後の生活や学習に活
	の仕組みを数学的表現を用いて考え	や式の大小・相等関係を、不等	ている。	用しようとしている。
	た過程を振り返り、そのよさに気付き	号や等号を用いて表したりする		
	今後の生活や学習に活用しようとす	ことができる。		
	る態度を養う。			
6. 水の かさを はかっ	〇体積について、測定などの活動を	〇体積について単位と測定の	〇長さの学習を基に、普遍単	〇身の回りにある入れ物に入る
て あらわそう	通して、長さの学習を基に単位の意	意味や、単位の関係を理解し、	位の必要性に気付き、身の回	水の体積に関心をもち、量の感
[水の かさの はんい]	味と測定の原理を理解し、単位をもち	およその見当を付け体積の単	りにある入れ物の特徴をその	覚を身に付け、数学的に表現・
	いて的確に表現する力を養うととも	位を適切に選択して身の回りに	中に入る水の体積に着目して	処理したことを振り返り、数理的
	に、体積について量の感覚を身に付	ある入れ物に入る水の体積を	捉え、目的に応じた単位で体	な処理のよさに気付き今後の生
	け、今後の生活や学習に活用しようと	測定することができる。	積を的確に表現したり、比べ	活や学習に活用しようとしてい
	する態度を養う。		たりしている。	る 。

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
7. 時計を 生活に 生	〇時刻と時間の概念、日、時、分の単	〇時刻と時間の区別、及び日、	〇時間の単位に着目し、図な	〇時刻や時間に関心をもち、数
かそう[時こくと 時間]	位やそれらの関係を理解し、数学的	時、分の単位やそれらの関係	どを用いて時刻と時間の求め	学的に表現・処理したことを振り
	表現を適切に用いて時刻や時間のも	を理解し、時刻や時間を求めた	方を考え、説明している。	返り、数理的な処理のよさに気
	とめ方を考える力を養うとともに、そ	り、表したりすることができる。		付き今後の生活や学習に活用
	れらを今後の生活や学習に活用しよ			しようとしている。
	うとする態度を養う。			
8. 計算の しかたを く	〇加法の結合法則、簡単な加減の暗	〇加法の結合法則や()の用	O()の中を1つの数とみて、	〇加減の計算方法について、計
ふうしよう[計算の くふ	算の仕方を理解することを通して、加	い方を理解するとともに、簡潔	式の意味を考え表現したり場	算法則、数の見方や構成を活用
う]	減計算についての理解を深め、計算	な加減法の暗算ができる。	面を式にあらわしたりするとと	して考えた過程や結果を振り返
	の仕方を数や式をよく見て考える力を		もに、3 口の数の加法計算に	り、数理的な処理のよさに気付
	養うとともに、計算法則、数の見方や		ついて、数量の関係に着目	き今後の生活や学習に活用しよ
	構成を活用して計算方法を考えた過		し、結合法則などを基に工夫	うとしている。
	程を振り返り、そのよさに気付き今後		して計算している。	
	の生活や学習に活用しようとする態			
	度を養う。			
9. ひっ算の しかたを	〇既習の筆算を基に、2 位数の加法	〇2 位数の加法及びその逆の	〇既習の筆算を基に、数の仕	○2・3 位数の加減の筆算の仕
考えよう[たし算とひき算	及びその逆の減法の筆算の仕方につ	減法の計算について、1 位数な	組みに着目し、2 位数の加法	方について、図や式などを用い
のひっ算]	いて理解し、筆算の仕方を図や式を	どの基本的な計算を基にでき	及びその逆の減法の筆算の	て考えた過程や結果を振り返
	用いて考える力を養うとともに、計算	ることを知り、それらの筆算の	仕方を、図や式などを用いて	り、数理的な処理のよさに気付
	方法を数学的表現を用いて考えた過	仕方について理解し、筆算の手	考え表現している。	き今後の生活や学習に活用しよ
	程を振り返り、そのよさに気付き今後	順を基に確実に計算することが		うとしている。
	の生活や学習に活用しようとする態	できる		
	度を養う。			

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
10. さんかくや しかく	〇平面図形に進んで関わり、図形に	〇三角形や四角形、直角、長	〇辺や頂点など図形を構成	〇身の回りにあるものの形の中
の 形を しらべよう	ついての感覚を豊かにしながら、三角	方形、正方形、直角三角形の	する要素に着目し、三角形や	から、三角形や四角形、直角、
[長方形と 正方形]	形、四角形、などの構成要素をとらえ	意味や性質を理解するととも	四角形、直角、長方形、正方	長方形、正方形などを見つけ図
	それらの意味や性質を理解し、図形	に、紙を折って直角をつくった	形などの特徴を見いだし、説	形としてとらえ、数学的に表現・
	を構成する要素に着目して捉える力	り、長方形や正方形などを作図	明している。	処理したことを振り返り、数理的
	を養うとともに、それらを今後の生活	したりすることができる。		な処理のよさに気付き今後の生
	や学習に活用しようとする態度を養			活や学習に活用しようとしてい
	う。			る 。
11. 新しい 計算を 考	〇乗法の意味について理解し、計算	〇乗法が用いられる場合や乗	〇数量の関係に着目し、累加	○数学的に表現・処理したこと
えよう[かけ算(1)]	の意味や計算の仕方を考えたり計算	法九九について知り、乗法の意	の考えや乗数と積の関係など	を振り返り、数理的な処理や乗
	に関して成り立つ性質を見いだしたり	味や乗法に関して成り立つ性	を基に、乗法九九の 構成の	法のよさに気付き今後の生活や
	する力を養うとともに、計算方法など	質(乗数が 1 ずつ増えるときの	仕方を考え表現している。	学習に活用しようとしている。
	を数学的表現を用いて考えた過程を	積の増え方や交換法則)を理		
	振り返り、そのよさに気付き今後の生	解し、乗法が用いられる場面を		
	活や学習に活用しようとする態度を養	絵や図、言葉、式で表したり、		
	う。	乗法九九(5.2.3.4 の段)を構成		
		し、確実に唱えたりすることが		
		できる。		
12. 九九を つくろう	〇乗法の意味について理解を深め、	〇乗法九九について知り、乗法	〇数量の関係に着目し、乗法	○数学的に表現・処理したこと
[かけ算(2)]	計算の意味や計算の仕方を考えたり	に関して成り立つ性質を確実に	について成り立つ性質や決ま	を振り返り、数理的な処理や乗
	計算に関して成り立つ性質を見いだし	するとともに、乗法が用いられ	りを用いて、乗法九九の構成	法について成り立つ性質や決ま
	たりする力を養うとともに、計算方法	る場面を絵や図、言葉、式で表	の仕方を考え工夫し、表現し	りを用いることのよさに気付き今
	などを数学的表現を用いて考えた過	したり、乗法九九(6.7.8.9 の段)	ている。	後の生活や学習に活用しようと
	程を振り返り、そのよさに気付き今後	を構成し、確実に唱えたりする		している。
	の生活や学習に活用しようとする態	ことができる。		
	度を養う。			

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識・技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
13.1000 より 大きい	〇10000 までの数についてその意味	〇4 位数について数の読み方	〇数のまとまりに着目し、十	〇数のまとまりに着目して数を
数を 調べよう	や表し方を理解し、数の概念について	や表し方、数の構成や大小、順	進位取り記数法の仕組みを	調べた過程や結果を振り返り、
[4けたの 数]	理解を深め、図や式を用いて考える	序、数の相対的な大きさを理解	考え表現したり、数を相対的	数理的な処理のよさに気付き今
	力を養うとともに、十進位取り記数法	し、数を書いたり読んだり、数	な大きさからとらえたりしてい	後の生活や学習に活用しようと
	の仕組みを数学的表現を用いて考え	や式の大小・相等関係を、不等	る 。	している。
	た過程を振り返り、そのよさに気付き	号や等号を用いて表したりする		
	今後の生活や学習に活用しようとす	ことができる。		
	る態度を養う。			
14. 長い 長さを はか	〇長いものの長さの測定などの活動	〇長さについて単位と測定の	〇上位単位の必要性に気付	〇身の回りにあるものの長さに
って あらわそう	を通して、単位の意味と測定の原理を	意味や、単位の関係を理解し、	き、身の回りのものの特徴を	関心をもち、量の感覚を身に付
[長い ものの 長さの	理解し、単位を用いて的確に表現す	およその見当を付け長さの単	長さに着目して捉え、既習の	け、数学的に表現・処理したこと
たんい]	る力を養うとともに、長さについて量	位を適切に選択して身の回り	学習を基に長いものの長さを	を振り返り、数理的な処理のよ
	の感覚を身に付け、今後の生活や学	のものの長さを測定し表現する	表す単位について考えてい	さに気付き今後の生活や学習に
	習に活用しようとする態度を養う。	ことができる。	る 。	活用しようとしている。
15. 図を つかって 考	〇加法と減法の相互関係について理	〇加法と減法の相互関係につ	〇数量の関係に着目し、場面	〇加法と減法の相互関係に関
えよう[たし算と ひき算]	解し、数量の関係に着目し、場面を図	いて理解し、加法と減法の相互	を図に表して構造を捉え、式	心をもち、数学的に表現・処理し
	に表して構造を捉え、式について考え	関係を表した図を用いて、図や	について考え表現している。	たことを振り返り、数理的な処理
	る力を養うとともに、加法と減法の相	式に表し、問題を解決すること		のよさに気付き今後の生活や学
	互関係を数学的表現を用いて考えた	ができる。		習に活用しようとしている。
	過程を振り返り、そのよさに気付き今			
	後の生活や学習に活用しようとする			
	態度を養う。			

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
16. 分けた大きさの 表	O1/2 や 1/3 などの簡単な分数につ	〇具体物を操作することなどに	〇分数について、元の大きさ	〇具体物や図などを用いて数
し方を しらべよう	いて知り、数とその表現に着目し、分	よって、1/2 や 1/3 などの簡単	と分けた大きさの関係や、分	学的に表現・処理したここを振り
[分数]	けた大きさの表し方を考える力を養う	な分数について知り、いくつか	けた大きさはすべて等しいこ	返り、数理的な処理のよさに気
	とともに、具体物や図などを用いて数	に等分した大きさの 1 つ分をつ	とに着目して考えている。	付き今後の生活や学習に活用
	学的に表現・処理した過程を振り返	くったり、それらの大きさを分数		しようとしている。
	り、そのよさに気付き今後の生活や学	を使って表現したりすることが		
	習に活用しようとする態度を養う。	できる。		
17. はこの 形を しら	〇箱の形をしたものを観察したりつく	〇箱の形をしたものの構成要	〇頂点、辺、面などの図形を	〇身の回りにあるものの形の中
べよう	ったりする活動を通して、正方形や長	素について理解し、正方形や	構成する要素に着目し、箱の	から、箱の形をしたものを見つ
[はこの 形]	方形の面で構成される箱の形をした	長方形を組み合わせたり、ひご	形の特徴を見出し、説明して	け、数学的に表現・処理したこと
	ものについて理解し、図形を構成する	などを用いたりして、箱の形を	いる。	を振り返り、数理的な処理のよ
	要素に着目してとらえする力を養うと	構成することができる。		さに気付き今後の生活や学習に
	ともに、それらを今後の生活や学習に			活用しようとしている。
	活用しようとする態度を養う。			

令和3年度 評価規準 学校名:江戸川区立西小岩小学校

教科	算数	学年	第 3 学年
----	----	----	--------

·		T		
単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
1. 九九を見なおそう	〇乗法に関して成り立つ性質や決ま	〇乗法に関して成り立つ性質	〇乗法に関して成り立つ性質	〇九九の範囲を超える乗法の
[かけ算]	りなどの理解を深め、数学的表現を	やきまりを理解し、それらを活	やきまりを理解し、九九の範	計算方法について、式や図など
	適切に活用して九九の範囲を超える	用して被乗数や乗数が 0 や 10	囲を超える乗法の計算方法	を用いて考えた過程や結果を振
	計算の仕方を考える力を養うととも	の乗法計算をすることができ	を、図や式を用いて考え、表	り返り、数理的な処理のよさに
	に、乗法の計算方法を数学的表現を	る。	現している。	気付き今後の生活や学習に活
	用いて考えた過程を振り返り、そのよ			用しようとしている。
	さに気付き今後の生活や学習に活用			
	しようとする態度を養う。			
2. 時こくと時間のもとめ	〇秒について知り、時間に関する理	〇秒について知り、他の時間の	〇時間の単位に着目し、時間	〇時刻や時間に関心をもち、数
方を考えよう	解を深めるとともに、数学的表現を適	単位との関係を理解するととも	を既習の量と統合的に捉える	学的に表現・処理したことを振り
[時こくと時間のもとめ	切に用いて時刻や時間の求め方を考	に、時刻や時間を求めることが	とともに、図などを用いて時	返り、数理的な処理のよさに気
方]	える力を養うとともに、それらを日常	できる。	刻や時間の求め方を考え、説	付き今後の生活や学習に活用
	生活に活用しようとする態度を養う。		明している。	しようとしている。
3. 同じ数ずつ分けると	〇除法の意味について理解し、九九1	〇除法が用いられる場合や除	〇数量に関係に着目し、等分	〇除法の意味や計算方法につ
きの計算を考えよう	回適用の除法計算の仕方を図や式を	法と乗法などとの関係について	除と包含除を除法として統合	いて、式や図などを用いて考え
[わり算]	用いて考える力を養うとともに、除法	知り、除法の意味について理解	して捉えるとともに、具体物や	た過程や結果を振り返り、数理
	の計算方法を数学的表現を用いて考	するとともに、除法計算をする	図、式を用いて計算の仕方を	的な処理のよさに気付き今後の
	えた過程を振り返り、そのよさに気付	ことができる。	考え表現している。	生活や学習に活用しようとして
	き今後の生活や学習に活用しようと			いる。
	する態度を養う。			

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
4. 大きい数の筆算を考	〇3~4 位数の加減法の筆算の仕方	○3~4 位数の加減計算は、2	〇数の見方に着目し、2~3	○3~4 位数の加減法の筆算の
えよう	を理解しその技能を身に付け、既習	位数などの基本的な計算を基	位数の場合の筆算の仕方を	仕方を、図や式などを用いて考
[たし算とひき算の筆算]	の数の見方や筆算の仕方を活用して	にしてできていることを理解し、	活用して 3~4 位数の加減法	えた過程や結果を振り返り、数
	筆算の仕方を考える力を養うととも	それらを計算することができ	の筆算の仕方を図や式など	理的な処理のよさに気付き今後
	に、筆算の仕方をまとめる過程を振り	వ 。	を用いて考え表現し、筆算の	の生活や学習に活用しようとし
	返り、既習と統合的に捉えようとしたり		仕方を一般化している。	ている。
	今後の学習に生かそうとしたりする態			
	度を養う。			
5. 長い長さをはかって	〇量の単位や測定について理解し適	〇長さの単位(キロメートル	〇身の回りのものの特徴や任	〇長さについての単位や測定を
表そう	切に単位を用いて長さを表したり、お	(km))や測定の意味を理解し、	意の単位に着目し、測定の方	用いて身の回りのものの長さを
[長いものの長さのはか	よその見当を付けて計器を適切に選	長さについての豊かな感覚をも	法や単位の関係について説	測ったり、既習の単位との関係
り方と表し方]	択して測定したりすることができるよう	つとともに、それらを活用して	明している。	について考えたりしたことを振り
	にするとともに、数学的表現を適切に	適切に長さを単位で表したりお		返り、数理的な処理のよさに気
	活用して既習の単位を含めた単位の	よその見当を付け適切な単位		付き今後の生活や学習に活用
	関係を統合的に考える力を養うととも	や計器を選択して測定をしたり		しようとしている。
	に、身に回りのものの長さを測定した	することができる。		
	過程を振り返り、量感覚を身に付け、			
	学習に生かそうとする態度を養う。			
6. 数をよく見て暗算で	O2 位数同士の加減法の暗算につい	〇被減数が 100 の加減法の暗	〇数の構成や加減法に関し	〇2 位数同士の加減法を暗算で
計算しよう	て理解し、計算することができるよう	算や 2 位数同士の加減法を暗	て成り立つ性質に着目して、	計算したことを振り返り、数理的
[暗算]	にするとともに、数学的表現を適切に	算で計算することができる。	暗算による計算の仕方をエ	な処理のよさに気付き今後の生
	活用して暗算の仕方を考える力を養		夫して考え、表現している。	活や学習に活用しようとしてい
	うとともに、計算した過程を振り返り、			る 。
	学習に生かそうとしている。			

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
7. わり算を考えよう	○割り切れない場合の除法や余りについて	○割り切れない場合の除法	〇数量の関係に着目し、	〇日常生活の問題を解決した
[あまりのあるわり算]	理解し、計算することができるようにするとと	割り切れない場合の除法の	割り切れる場合とわりきれ	過程や得られた結果を吟味し
	もに、数学的表現を適切に活用して、除法	計算や余りと除数の大小関係	ない場合の情報を統合し	たことを振り返り、数理的な処
	の意味や計算の仕方を具体物や図、式を用	について理解し、それらを活	て捉え、除法の意味や計	理のよさに気付き今後の生活
	いて表す力を養うとともに、問題場面におけ	用して数量の関係を捉えるこ	算に成り立つ性質につい	や学習に活用しようとしてい
	る数量の関係に着目し、数学的に処理した	とができる。	て考え、説明している。	వ 。
	過程を振り返り、今後の学習や日常生活に			
	活用しようとする態度を養う。			
8.10000 より大きい数	〇万の単位や 1 億までの整数について知	〇万の単位や 1 億までの整	○整数のしくみや表し方に	O1 億までの数のしくみや表し
を調べよう	り、十進位取り記数法や4桁区切りによる命	数を知り、十進位取り記数法	着目し、万の単位を用い	方について、統合的に捉えた
[大きい数のしくみ]	数法(万進法)を基に、大きな数の読み方や	についての理解を深めるとと	た整数のしくみについて類	過程や結果を振り返り、数理
	計算の仕方を考えるとともに、整数の表し方	もに、10 倍、100 倍、1000	推して考え、大きな数の大	的な処理のよさに気付き今後
	について数学的表現を用いて考えた過程を	倍、1/10 にした数や数の相	小の比べ方や表し方を統	の生活や学習に活用しようとし
	振り返り、今後の学習や日常生活に活用し	対的な大きさを不等号を用い	合的に捉え説明している。	ている。
	ようとする態度を養う。	て表す方法を理解している。		
9. 大きい数のかけ算の	O2 位数や 3 位数に 1 位数をかける乗法の	O2~3 位数×1 位数の乗法	〇数の構成や既習の乗法	O2~3位数×1位数の筆算に
しかたを考えよう	計算の仕方について理解し、確実に計算す	の筆算の仕方を理解し、それ	計算に着目し、2~3 位数	ついて、乗法九九などの基本
[かけ算の筆算(1)]	ることや成り立つ性質について理解すること	らを活用して計算することが	×1 位数の筆算について	的な計算を基に考えたことを
	ができるようにするとともに、数学的表現を	できる。	考え、説明している。	振り返り、数理的な処理のよさ
	適切に活用して、乗法の成り立つ性質を活			に気付き今後の生活や学習に
	用したり、計算を確かめたりするとともに、計			活用しようとしている。
	算した過程を振り返り、学習に生かそうとし			
	ている。			

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準	Ē	
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
10. わり算や分数を考	〇簡単な場合について、除数が 1 位数	〇簡単な場合の 2 位数	〇既習の計算の仕方やテープ	〇簡単な場合の 2 位数÷1 位数の
えよう	で商が2位数の除数の計算や分数と除	÷1 位数の計算の仕方	図などを用いて、数の構成に着	計算の仕方を既習の除法計算など
[大きい数のわり算、分	法の関係について理解し、計算ができ	について説明している。	目して簡単な場合の 2 位数÷1	を基に考えた過程を振り返り、数理
数とわり算]	るようにするとともに、数学的表現を適	〇分数で表されている	位数の計算の仕方について考	的な処理のよさに気付き今後の生
	切に活用して、計算方法や問題場面に	場面を適切に捉え、除法	え、説明している。	活や学習に活用しようとしている。
	おける分数の意味について考える力を	の計算を用いて答えを	〇等分することや分数の意味	〇分数と除法の関係やもとの数と
	養うとともに、既習の計算方法や分数を	求めることができる。	に着目して、分数で表された数	分数の関係を考えた過程を振り返
	除法としてみた過程を振り返り、学習に		を除法を用いて計算することを	り、数理的な処理のよさに気付き今
	いかそうとする態度を養う。		考え、説明している。	後の生活や学習に活用しようとして
				いる。
11. まるい形を調べよう	〇円や球の構成する要素や性質につ	〇円の中心や半径、直	〇円や球を構成する要素に着	〇円や既習の図形の作図を基に模
[円と球]	いて理解しコンパスを用いた作図や長	径について理解し、円に	目し、構成の仕方について考え	様をかくなどの活動を通して、身の
	さを測り取ることができるようにするとと	関連して球の直径などを	たり、身の回りのものに図形の	回りから円や球を見つけたり、図形
	もに、数学的表現を適切に活用して構	理解し、それらを活用し	性質がどのように活用されてい	の持つ美しさに関心を持ったりした
	成の仕方や身の回りのものを円や球と	てコンパスで円をかいた	るかを考えたり、説明している。	ことを振り返り、数理的な処理のよ
	して考える力を養うとともに、図形をか	り、等しい長さを測り取っ		さに気付き今後の生活や学習に活
	いたり確かめたりする活動を振り返り、	たりすることができる。		用しようとしている。
	学習に生かそうとしている。			
12. 数の表し方や仕組	〇小数の意味や表し方について理解	〇端数部分の大きさを	〇数の表現や数のまとまりに	〇小数の表し方や意味や加減計算
みを調べよう	し、加法や減法の計算ができるように	表す際に小数を用いるこ	着目し、小数は整数の十進位	の仕方について、図や式などの数
[小数]	するとともに、数学的表現を適切に活	とや小数の仕組みにつ	取り記数法を拡張したものと捉	学的表現を用いて考えた過程を振
	用して小数の表し方や仕組み、計算の	いて理解し、それらを活	え、小数を含む数の大小関係	り返り、数理的な処理のよさに気付
	仕方を考えるとともに、身の回りにある	用して 1/10 の位までの	や加減の計算方法について考	き今後の生活や学習に活用しよう
	小数で表された数の意味について振り	小数の加減の計算をす	え、説明している。	としている。
	返り、日常生活に生かそうとしている。	ることができる。		

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考•判断•表現	主体的に学習に取り組む態度
13. 重さをはかって表そ	〇重さの単位と測定について理解し、適切	O重さについて、単位や単位	〇身の回りのものの重さ	〇身の回りにあるものの重さや
う	に重さの測定や表し方の選択ができるよう	間の関係を理解し、およその	やその単位に着目し、量	数値化することのよさ、普遍単
[重さのたんいとはかり	にするとともに、数学的表現を適切に活用し	見当をつけ、適切な計器を選	感や単位の関係を統合	位の必要性を振り返り、数理的
方]	て身の回りのものの重さや重さの単位を統	んで測定することができる。	的に考え、説明してい	な処理のよさに気付き今後の生
	合的に考える力を養うとともに、重さの表し		వ 。	活や学習に活用しようとしてい
	方について考えた過程を振り返り、日常生			る 。
	活に生かそうとする態度を養う。			
14. 分数を使った大きさ	〇分数の意味や分数を用いた大きさの表し	〇端数部分の大きさを表す	〇分数は単位量をn等	〇分数を用いることで、整数で
の表し方を調べよう	方を理解し、それらを用いて分数の加法及	数や大きさを表す数としての	分した 1 こ分を任意の単	は表すことのできない等分して
[分数]	び減法の計算をすることができるようにする	分数やその表し方を理解し、	位としていることに着目	できる部分の大きさや端数部分
	とともに、数学的表現を適切に活用して分数	それらを活用して分数の加法	して、数の大きさを比べ	の大きさを表せるようになること
	での端数の表し方や小数との関係を考える	及び減法の計算や1/10の位	たり、計算したりする方	を振り返り、数理的な処理のよ
	力を養うとともに、分数の仕組みを用いて考	までの小数と分母が 10 の分	法を考え、説明してい	さに気付き今後の生活や学習に
	えた過程を振り返り、学習に生かそうとして	数の関係について理解する。	る。	活用しようとしている。
	いる。			
15. 口を使って場面を	〇未知の数量を表す口などの記号を用いて	〇数量の関係を表す式に未	〇数量の関係や問題場	〇未知の数量を口などの記号を
式に表そう	数量の関係を式に表すことについて理解し、	知の数量を表す口などの記	面に着目し、数量の関係	用いて表すことで、問題場面を
[口を使った式]	数量の関係を式に表したり、口などの記号	号を用いることを理解し、そ	を図や式を用いて簡潔	式や図に表せることのよさを振
	に数を当てはめて調べたりすることができる	れらを活用して問題場面を式	に表したり、式と図を関	り返り、数理的な処理のよさに
	ようにするとともに、数学的表現を適切に活	や図に表したり、式の意味を	連付けて読み取ったりし	気付き今後の生活や学習に活
	用して数量の関係を簡潔に表したり、式の意	読み取って問題場面を考え、	て未知の数量を表す口	用しようとしている。
	味を読み取ったりする力を養うとともに、数	口に当てはまる数の調べ方	を用いた式について考	
	量の関係を表す式を考察した過程を振り返	を理解したりしている。	え、説明している。	
	り、学習に生かそうとしている。			

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
16. かけ算の筆算を考	○2 位数や3位数に2位数をかける乗法の	O2~3 位数×1 位数の乗	〇数の構成や既習の 2	O2~3 位数×2 位数の筆算につ
えよう	計算について理解し、確実に計算することや	法の筆算の仕方を活用し	~3 位数×1 位数の筆算	いて、既習の筆算の計算方法を
[かけ算のひっ算(2)]	成り立つ性質について理解することができる	て、2~3 位数×2 位数の乗	の仕方に着目し、2~3	基に考えられたことを振り返り、数
	ようにするとともに、数学的表現を適切に活	法の筆算を計算することが	位数×2 位数の筆算に	理的な処理のよさに気付き今後
	用して、乗法の成り立つ性質を活用したり、	できる。	ついて考え、説明してい	の生活や学習に活用しようとして
	計算を確かめたりするとともに、計算した過		న 。	いる。
	程を振り返り、学習に生かそうとしている。			
倍の計算	O基準量や倍の意味について理解し、それ	〇倍の意味を理解し、問題	〇基準量や数量の関係	〇基準量や倍について考えた過
	ぞれ答えを求めることができるようにすると	場面に応じてテープ図やロ	に着目し、倍の意味や計	程を振り返り、数理的な処理のよ
	ともに、数学的表現を適切に活用して演算	を用いた式などを用いなが	算方法について考え、説	さに気付き今後の生活や学習に
	決定や数量の関係を考える力を養うととも	ら、答えを求めることができ	明している。	活用しようとしている。
	に、二つの数量の関係を考察した過程を振	る。		
	り返り、学習に生かそうとしている。			
17. 三角形を調べよう	〇作図などを通して二等辺三角形や正三角	〇作図などの活動を通し	〇図形を構成する要素	〇辺の長さや角の大きさなどの図
[三角形と角]	形の関係や角について理解し、図形の特徴	て、二等辺三角形や正三	に着目し、図形の構成の	形を構成する要素に着目し、学習
	を捉えることができるようにするとともに、数	角、角の大きさについて知	仕方を考えるとともに、	を通して身の回りのものの形を図
	学的表現を適切に活用して図形を構成する	り、それらを活用して基本的	基本的な図形の性質に	形としてとらえたことを振り返り、
	要素や構成の仕方を考える力を養うととも	な図形の性質や構成する要	ついて考え、説明してい	図形の敷き詰めなどの作図に関
	に、図形の要素に着目し、図形を考察した過	素を理解している。	る 。	心を持ち、数理的な処理のよさに
	程を振り返り、学習に生かそうとする態度を			気付き今後の生活や学習に活用
	養う。			しようとしている。

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識・技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
18. わかりやすく整理し	〇日常の事象について、観点別にデータを	〇日時や場所などの観点別	〇目的に応じたデータを整	〇データを分類整理したり、そ
て表そう	分類整理することについて理解し、表や棒グ	にデータを分類整理するこ	理する観点に着目し、身の	れらを基に身の回りの事象に
[棒グラフと表]	ラフに表したり読んだりすることができるよう	とを理解し、それらを活用し	回りの事象について表やグ	ついて考察したりした過程を振
	にするとともに、数学的表現を適切に活用し	て表やグラフから項目間の	ラフを用いて考察したり、見	り返り、数理的な処理のよさに
	て表やグラフから見出したことを考察するカ	関係や集団の持つ全体的	出したことをわかりやすく表	気付き今後の生活や学習に活
	を養うとともに、データを整理し考察した過	な特徴を読み取ったりする	したりすることについて考	用しようとしている。
	程を振り返り、今後の学習や日常生活に生	ことができる。	え、説明している。	
	かそうとする態度を養う。			
そろばん	Oそろばんによる数の表し方について理解	〇そろばんを用いた加減計	Oそろばんの仕組みや十進	〇そろばんの仕組みと十進数
	しそろばんを用いて簡単な加法及び減法の	算の仕方を理解し、それら	位取り記数法の仕組みに着	の仕組みを振り返り、数理的
	計算ができるようにするとともに、数学的表	を活用して簡単な加減計算	目し、数の入れ方や払い方	な処理のよさに気付き今後の
	現を適切に活用して大きな数や小数の仕組	をすることができる。	を考え、説明している。	生活や学習に活用しようとして
	みを考える力を養うとともに、計算の過程を			いる。
	振り返り、学習に生かそうとしている。			

令和4年度 評価規準 学校名:江戸川区立西小岩小学校

	教科	算数	学年	第 4 学年
--	----	----	----	--------

単元名	単元の到達目標	単二の主に主川の証件担准		
半 兀石		単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
1.1 億より大きい数を調	〇億や兆の単位について知り、十進	〇億や兆の単位を知り、十進	〇整数の仕組みや表し方に	〇億や兆の仕組みや表し方に
べよう	位取り記数法や 4 桁区切りによる命	位取り記数法についての理解	着目し、億や兆の単位を用い	ついて、統合的に捉えた過程や
[大きい数のしくみ]	数法(万進法)に基づき大きな数の読	を深めるとともに、10 倍や	た整数の仕組みについて類	結果を振り返り、数学のよさに
	み方や計算の仕方を考えるとともに、	1/10 にした数、被乗数と乗数	推して考え、大きな数同士の	気付き学習したことを今後の生
	整数の表し方に関わる数学的表現を	が 3 位数の整数の乗法計算を	大きさの比べ方や表し方を統	活や学習に活用しようとしたりし
	用いて考えた過程を振り返り、そのよ	することができる。	合的に捉え説明している。	ている。
	さに気付き今後の学習や日常生活に			
	活用しようとする態度を養う。			
2. グラフや表を使って	〇折れ線グラフの特徴や用い方、分	〇折れ線グラフの特徴や用い	〇資料を目的に応じて分類整	〇問題解決の過程や資料を分
調べよう	類整理の方法について理解し、それ	方、資料を二次元表による分	理し、それらの特徴や傾向に	類整理した結果、折れ線グラフ
[折れ線グラフと表]	らを活用して資料を折れ線グラフに表	類整理をすることを理解し、そ	着目して問題解決に適切なグ	を活用した過程を振り返り、多
	したり読み取ったりするとともに、数学	れらを活用して資料を折れ線	ラフを選択して判断し、結論に	面的に捉え検討してより良いも
	的表現を適切に活用して資料の特徴	グラフに表したり、それを読み	ついて考え、説明している。	のを求めて粘り強く考えたり、数
	や傾向に着目し、問題解決のための	取ったりすることができる。		学のよさに気付き学習したこと
	グラフを選択・判断することを通し、結			を今後の生活や学習に活用し
	論について考察する力を養うととも			ようとしたりしている。
	に、資料を折れ線グラフに表し、問題			
	解決のために情報を読み取り、考え			
	た過程を振り返り、日常生活に生かそ			
	うとする態度を養う。			
3. わり算のしかたを考	O2~3位数を1位数でわる除法計算	〇既習の乗法九九を 1 回用い	〇数量の関係に着目し、計算	O2~3 位数を 1 位数の除法の
えよう	について理解し、その計算が確実に	て商を求める計算及び簡単な	の仕方を考えたり、除法に関	計算方法を、既習の基本的な

[わり算の筆算(1)ーわ	できるようにするとともに、除法に関し	2 位数を 1 位数で割る計算の	して成り立つ性質を見出した	計算を基に考えたことを振り返
る数が 1 けた]	て成り立つ性質を活用して計算をエ	方法を活用し、2~3 位数÷1	りしたことをについて考え、説	り、多面的に捉え検討してより
	夫したり計算の確かめをしたりする力	位数の計算をすることができ	明している。	よいものを求めて粘り強く考え
	を養うとともに、既習の基本的な計算	వ 。		たり、数学のよさに気付き学習
	を基に考えた過程を振り返り、今後の			したことを今後の生活や学習に
	学習に生かそうとする態度を養う。			活用しようとしたりしている。

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
4. 角の大きさの表し方	〇角の大きさについて単位と測定の	〇角の大きさを回転の大きさと	〇図形の角の大きさに着目	〇分度器を用いて角の大きさを
を調べよう	意味について理解し、角の大きさを測	して捉えることを理解し、それら	し、角の大きさについての表	測定するなどの数学的活動を振
[角の大きさ]	定したり角をかいたりできるようにす	を活用して角の大きさの単位	現や三角形などの図形を考	り返り、多面的に捉え検討してよ
	るとともに、数学的表現を適切に活用	(度(゜))や分度器を用いて角	察し、説明している。	りよいものを求めて粘り強く考え
	して角の大きさや図形について考察	の大きさを測定したり、必要な		たり、数学のよさに気付き学習し
	する力を養うとともに、角を測定した	大きさの角をつくったりすること		たことを今後の生活や学習に活
	経験を振り返り、学習に生かそうとす	ができる。		用しようとしたりしている。
	る態度を養う。			
5. 小数のしくみを調べよ	〇小数の意味や表し方について理解	O1/100の位、1/1000の位の	O1/10 未満の数のしくみや	〇1/10 未満の小数の表し方及
う	し、加法や減法の計算をすることがで	小数の表し方や仕組みについ	数を構成する単位に着目し、	び加法や減法の計算の仕方に
[小数のしくみ]	きるようにするとともに、数学的表現	て理解し、それらを活用して加	小数の加法や減法の計算の	ついて、十進位取り記数法のよ
	を適切に活用して小数の仕組みや計	法や減法の計算をすることが	仕方、数の相対的な大きさに	さや整数や小数の仕組みと関連
	算の方法を考えるとともに、十進位取	できる。	ついて考え、説明している。	付けて考えた過程を振り返り、
	り記数法を基に整数や小数の仕組み			多面的に捉え検討してよりよい
	を考えた過程を振り返り、日常生活に			ものを求めて粘り強く考えたり、
	生かそうとする態度を養う。			数学のよさに気付き学習したこ
				とを今後の生活や学習に活用し
				ようとしたりしている。

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
そろばん	〇そろばんの仕組みについて理解し、加法	〇そろばんの仕組みを活用し	〇十進位取り記数法に着	〇そろばんの仕組みを数のし
	及び減法の計算ができるようにするととも	て億や兆の大きい数や小数	目し、そろばんを用いて計	くみを振り返り、数学のよさに
	に、数学的表現を適切に活用して大きな数	の加法及び減法の計算をす	算する方法を考え、説明し	気付き学習したことを今後の
	や小数の仕組みを考える力を養うとともに、	ることができる。	ている。	生活や学習に活用しようとして
	そろばんの仕組みを考えた過程を振り返り、			いる。
	学習に生かそうとする態度を養う。			
6. わり算の筆算を考え	○2~3 位数を 2 位数でわる除法計算につ	〇既習の除法の筆算の仕方	〇数量に関係に着目し	O2~3位数÷2位数の除法の
よう	いて理解し、その計算が確実にできるように	や数のまとまりを用いて 2~3	て、2~3 位数を 2 位数で	計算方法を、既習の除法の計
[わり算の筆算(2)ーわ	するとともに、数学的表現を適切に活用して	位数を2位数で割る除法の計	わる除法の計算の仕方を	算を基に考えたことを振り返
る数が2けた]	計算を工夫したり計算の確かめをしたりする	算を求めることができる。	考え、説明している。	り、多面的に捉え検討してより
	力を養うとともに、基本的な計算を基に考え			よいものを求めて粘り強く考え
	た過程を振り返り、今後の学習に生かそうと			たり、数学のよさに気付き学習
	する態度を養う。			したことを今後の生活や学習
				に活用しようとしたりしている。
倍の見方	〇ある二つの数量の関係と別の二つの数量	〇簡単な場合についての割	〇日常の事象における数	〇簡単な場合について、割合
	の関係とを比べる場合に割合を用いる場合	合を活用して、ある二つの数	量の関係に着目し、ある	を用いて比べたことを振り返
	があることについて理解し、簡単な場合につ	量の関係と別の二つの数量	二つの数量の関係と別の	り、よりよいものを求めて粘り
	いて割合を求めることができるようにすると	の関係とを比べることができ	二つの数量の関係につい	強く考えたり、学習したことを
	ともに、数学的表現を適切に活用して二つ	る 。	て割合を用いて考え、説	今後の生活や学習に活用しよ
	の数量同士の関係の比べ方を考える力を養		明している。	うとしたりしている。
	うとともに、割合を用いて比べた過程を振り			
	返り、学習に生かそうとする態度を養う。			

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準	<u> </u>	
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
7. およその数の使い方	〇概数について理解し、概数を用いた	〇概数の用いられる目	〇日常の事象における場面に	〇日常の事象において、目的に応
と表し方を調べよう	り四捨五入や四則計算の結果の見積も	的や四則計算の見積も	おいて、数の処理の仕方に着	じて数を処理したことを振り返り、多
[がい数の使い方と表し	りをしたりすることができるようにすると	りの仕方を理解し、それ	目し、目的に応じて数を処理す	面的に捉え検討してよりよいものを
方]	ともに、数学的表現を適切に活用して	らを活用して目的に応じ	るよさについて考え、説明して	求めて粘り強く考えたり、数学のよ
	目的にあった数の処理の仕方を考える	て用いることができる。	いる。	さに気付き学習したことを今後の生
	力を養うとともに、概数を用いて考えた			活や学習に活用しようとしたりして
	過程を振り返り、日常の事象に生かそう			いる。
	とする態度を養う。			
8. 計算のやくそくを調べ	〇計算の順序に関するきまりを理解	〇四則の混合した式や	〇問題場面の数量の関係に着	O()を用いて1つの式に表すと数
よう	し、四則に関して成り立つ性質について	()を用いた式、公式に	目し、簡潔に表現したり一般的	量の関係を簡潔に表すことができ
[計算のきまり]	理解を深めることができるようにすると	ついて理解し、それらを	に表現したりすることについて	るなどのよさを振り返り、多面的に
	ともに、数学的表現を適切に活用して	活用して(■や▲など	考え、説明している。	捉え検討してよりよいものを求めて
	数量の関係を表す式について考える力	の)記号で数量の関係を		粘り強く考えたり、数学のよさに気
	を養うとともに、問題場面の数量関係に	表すことができる。		付き学習したことを今後の生活や
	ついて考えた過程を振り返り、学習に			学習に活用しようとしたりしている。
	生かそうとする態度を養う。			
9. 四角形の特ちょうを	〇直線の位置関係や四角形の構成に	〇直線の平行や垂直の	〇辺の位置関係や構成要素に	〇身の回りから直線の平行や垂直
調べよう	ついて理解し、図形についての見方や	関係を理解し、それらを	着目して、様々な四角形の性	の関係、様々な四角形を見つける
[垂直、平行と四角形]	感覚を豊かにするとともに、数学的表	活用して平行四辺形や	質を見出し表現したり、四角形	ことで学習内容を振り返り、多面的
	現を適切に活用して図形の構成の仕方	ひし形、台形について理	の対角線の特徴を統合的に考	に捉え検討してよりよいものを求め
	を考える力を養うとともに、図形の性質	解している。	えたり、説明している。	て粘り強く考えたり、数学のよさに
	を考察した過程を振り返り、日常生活に			気付き学習したことを今後の生活
	生かそうとする態度を養う。			や学習に活用しようとしたりしてい
				る 。

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考•判断•表現	主体的に学習に取り組む態度
10. 分数をくわしく調べ	〇分数とその計算について理解し、同分母	〇分数の意味や表し方、	〇数を構成する単位	O1より大きい分数を仮分数や帯分数
よう	分数の加法及び減法の計算ができるように	その加法及び減法の計算	分数に着目し、同値	で表すことのよさや分数を単位分数の
[分数]	するとともに、数学的表現を適切に活用して	方法について理解し、1よ	分数や分数の加法及	個数で捉え、加法及び減法の計算方
	数を構成する単位について考える力を養う	り大きい分数を仮分数や	び減法の計算方法を	法を考えた過程を振り返り、多面的に
	とともに、分数とその加法及び減法の計算	帯分数で表したり、簡単な	考え、説明している。	捉え検討してよりよいものを求めて粘
	方法について考えた過程を振り返り、学習に	場合について同値分数が		り強く考えたり、数学のよさに気付き学
	生かそうとする態度を養う。	あることを説明したりする		習したことを今後の生活や学習に活用
		ことができる。		しようとしたりしている。
11. どのように変わるか	〇伴って変わる二つの数量について、表を	〇伴って変わる二つの量	〇伴って変わる二つ	〇主体的に問題解決に取り組むととも
調べよう	用いて調べたり式に表したりすることができ	の関係を、表を用いて変	の量の関係に着目し	に、関係を表で調べることのよさや関
[変わり方調べ]	るようにするとともに、数学的表現を適切に	化や対応の特徴を調べた	て、表や式を用いて	係を口や〇などを用いた式に簡潔に
	活用して変化や対応の特徴について考える	り、口や〇などを用いて式	変化や対応の特徴に	表せることのよさを振り返り、多面的に
	力を養うとともに、二つの数量について考察	に表したりすることができ	ついて考え、説明して	捉え検討してよりよいものを求めて粘
	した過程を振り返り、学習に生かそうとする	る。	いる。	り強く考えたり、数学のよさに気付き学
	態度を養う。			習したことを今後の生活や学習に活用
				しようとしたりしている。
12. 広さの表し方を考え	〇平面図形の面積に関する単位について理	〇面積の単位について理	〇量や乗法の学習を	〇面積を数値化して表すことのよさや
よう	解し正方形や長方形の面積を計算して求め	解し、それらを活用して正	基に、単位面積や図	身の回りのものの面積を求めたことを
[面積のはかり方と表し	ることができるようにするとともに、数学的表	方形や長方形の面積を求	形の構成要素に着目	振り返り、多面的に捉え検討してよりよ
方]	現を適切に活用して面積の求め方や面積の	められることやその求め	して、単位面積の何	いものを求めて粘り強く考えたり、数学
	単位と既習の単位との関係について考える	方、面積の単位間の関係	こ分かで数値化する	のよさに気付き学習したことを今後の
	力を養うとともに、単位面積を基に考察した	を理解するとともに、面積	ことや辺の長さを用	生活や学習に活用しようとしたりしてい
	過程を振り返り、学習に生かそうとする態度	についての量感を身に付	いて面積を求めるこ	る 。
	を養う。	けている。	とについて考え、説明	
			している。	

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
13. 小数のかけ算とわり	〇乗数や除数が整数の場合の小数の乗	〇既習の乗除の計算の仕	〇位に着目し、小数×整	〇小数×整数、小数÷整数、整
算を考えよう	除計算の仕方について理解し、筆算を用	方を基に、小数×整数、小	数、小数÷整数、整数÷	数÷整数で商が小数になる場合
[小数のかけ算とわり算]	いて計算することができるようにするととも	数・整数、整数・整数で商	整数で商が小数になる場	の計算の仕方を、既習の乗除の
	に、数学的表現を適切に活用して筆算や	が小数になる場合の計算の	合の計算の仕方を考え、	計算の仕方を基に考えた過程を
	計算の工夫や考える力を養うとともに、計	仕方を理解し、計算をする	説明している。	振り返り、多面的に捉え検討して
	算の仕方を既習事項を基に考えた過程を	ことができる。		よりよいものを求めて粘り強く考え
	振り返り、日常生活や学習に生かそうとす			たり、数学のよさに気付き学習し
	る態度を養う。			たことを今後の生活や学習に活
				用しようとしたりしている。
14. 箱の形の特ちょうを	〇立体図形や直方体における直線や平面	〇直方体や立方体の特徴	〇立体図形の構成要素や	〇図形について、構成する要素
調べよう	の関係について理解し説明することができ	や性質、直線や平面の垂直	位置関係に着目して、直	や位置関係に着目して捉えたこと
[直方体と立方体]	るようにするとともに、数学的表現を適切	と平行の関係、平面上や空	方体や立方体の特徴や性	を振り返り、多面的に捉え検討し
	に活用して、図形の性質について考えるカ	間にあるものの位置の表し	質を考え表現したり、直方	てよりよいものを求めて粘り強く
	を養うとともに、図形を構成する要素や位	方を理解し、それらを活用し	体に関連づけて、直線や	考えたり、数学のよさに気付き学
	置関係に着目し考察したことを振り返り、	て展開図や見取り図をかい	平面の垂直や平行の関	習したことを今後の生活や学習に
	学習に生かそうとしている。	たり、位置を表したりするこ	係、ものの位置の表し方を	活用しようとしたりしている。
		とができる。	捉えたり説明している。	

 教科
 算数
 学年
 第 5 学年

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
1. 整数と小数のしくみを	○整数及び小数の表し方についての理解	〇整数及び小数につい	〇数の表し方に着目し、整	〇整数及び小数の十進数としての
まとめよう	を深め、数学的表現を適切に活用して数	て、10 倍、100 倍、1000	数及び小数について十進	特徴について統合的に捉えたり、
[整数と小数]	の表し方の仕組みを考える力を養うととも	倍(1/10 、 1/100 、	数として統合的に捉えると	数学のよさに気付き学習したことを
	に、十進数としての特徴を統合的に捉えよ	1/1000)したときの位や小	ともに、整数及び小数十	今後の生活や学習に活用しようとし
	うとしたり、そのよさに気付き今後の学習	数点の移動の仕方を理解	進位取り記数法をもとに図	たりしている。
	や日常生活に生かそうとしたりする態度を	し、それらの大きさの数を	や式を用いて計算の仕方	
	養う。	つくることができる。	を考え表現している。	
2. 直方体や立方体のか	〇立体の体積について理解し、立体を構	〇体積の単位を知り、立	〇体積の単位や立体を構	〇立体の体積の単位や体積の求め
さの表し方を考えよう	成する要素に着目して体積の求め方を考	方体及び直方体の体積の	成する要素に着目し、立	方について、数学的に表現・処理し
[直方体や立方体の体	える力を養うとともに、体積の求め方を数	計算による求め方につい	体の体積の求め方を考え	たことを振り返り、多面的に捉え検
積]	学的表現を用いて考えた過程を振り返り、	て理解するとともに、体積	るとともに、体積の単位と	討してより良いものを求めて粘り強
	多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や	を求めることができる。	これまでの学習した単位と	く考えたり、数学のよさに気付き学
	学習に活用しようとしたりすり態度を養う。		の関係を統合的に捉え、	習したことを今後の生活や学習に
			説明している。	活用しようとしたりしている。
3. 変わり方を調べよう	〇簡単な場合の比例の関係について理解	〇簡単な場合について比	〇伴って変わる2つの数	○簡単な場合の比例の関係につい
[比例]	し、伴って変わる二つの数量やそれらの関	例の関係があることを知	量の関係に着目し、表を	て、表を用いて考えた過程を振り返
	係を表を用いて考える力を養うとともに、	り、表を用いて比例の関係	用いて比例の関係を捉	り、多面的に捉え検討してよりよい
	伴って変わる二つの数量の変化や対応の	を見出すことができる。	え、説明している。	ものを求めて粘り強く考えたり、数
	特徴を数学的表現を用いて考えた過程を			学のよさに気付き学習したことを今
	振り返り、そのよさに気付き今後の生活や			後の生活や学習に活用しようとした
	学習に生かそうとする態度を養う。			りしている。

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規	準	
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
4. かけ算の世界を広げ	〇乗数が小数の場合の乗法の意味に	〇乗数が小数の場合	〇乗法の意味に着目し、	〇乗数が小数の場合の乗法の意味を捉え
よう	ついて理解し、その計算の仕方を図や	の乗法の意味や、小数	乗法の性質を活用して、	なおしたり、その計算方法について図や式
[小数のかけ算]	式を用いて考える力を養うとともに、乗	の乗法についても整数	乗数が小数の場合の乗	などを用いて考えた過程や弥結果を振り返
	数が小数の場合の乗法の計算の仕方	の場合と同じ関係や法	法の計算の仕方を図や	り、多面的に捉え検討してよりよいものを求
	を乗法の性質や数学的表現を用いて	則が成り立つことを理	式などを用いて考え表	めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き
	考えた過程を振り返り、乗法の意味を	解するとともに、乗数が	現している。	学習したことを今後の生活や学習に活用し
	捉えなおしたり今後の生活や学習に活	小数の場合の乗法の		ようとしたりしている。
	用しようとしたりする態度を養う。	計算ができる。		
5. わり算の世界を広げ	〇除数が小数の場合の除法の意味に	〇除数が小数の場合	〇除法の意味に着目し、	〇除数が小数の場合の除法の意味を捉え
よう	ついて理解し、その計算の仕方を図や	の除法の意味について	除法の性質を活用して、	なおしたり、その計算方法について図や式
[小数のわり算]	式を用いて考える力を養うとともに、除	理解するとともに除数	除数が小数の場合の除	などを用いて考えた過程や結果を振り返
	数が小数の場合の除法の計算の仕方	が小数の場合の除法	法の計算の仕方を図や	り、多面的に捉え検討してよりよいものを求
	を除法の性質や数学的表現を用いて	の計算ができる。	式などを用いて考え表	めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き
	考えた過程を振り返り、除法の意味を		現している。	学習したことを今後の生活や学習に活用し
	捉えなおしたり今後の生活や学習に活			ようとしたりしている。
	用しようとしたりする態度を養う。			
小数の倍	〇既習の倍の意味をもとに基準量や比	〇基準量や比較量が	〇2量の関係に着目し、	○基準量や比較量が小数の場合の倍の意
	較量が小数の場合の倍の意味につい	小数の場合の倍の意	基準量や比較量が小数	味について、整数倍の意味と統合的に捉え
	て理解し、倍の意味を図や式を用いて	味について理解し、説	の場合の倍の意味につ	たり、数学的に表現・処理したことを振り返
	考える力を養うとともに、整数と小数の	明している。	いて図や式などを用いて	り、多面的に捉え検討してよりよいものを求
	倍の意味を統合的に捉えたりこれまで		考え表現している。	めて粘り強く考えたり、数学のよさに気付き
	の倍の学習を生活や学習にいかそうと			学習したことを今後の生活や学習に活用し
	したりする態度を養う。			ようとしたりしている。

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準	<u> </u>	
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
6. 形も大きさも同じ図形	〇図形の合同の意味や合同な図形の性質	〇図形の形や大きさが	〇図形を構成する要素	〇合同という観点で既習の図形の性
を調べよう	などについて理解し、図形を構成する要素	決まる要素や図形の合	や図形間の関係に着目	質を見なおしたり、対角線に着目して
[合同な図形]	や図形間の関係に着目して図形の性質につ	同について理解するとと	し、合同な図形の性質を	合同な図形を捉えたりしたことを振り
	いて考える力を養うとともに、図形を合同と	もに、合同な図形を分類	見出し、その性質を道筋	返り、多面的に捉え検討してよりよい
	いう観点で考察した過程を振り返り、合同の	したりかいたりすることが	を立てて説明している。	ものを求めて粘り強く考えたり、数学
	観点から既習の図形を捉え直したり今後の	できる。		のよさに気付き学習したことを今後の
	生活や学習に活用しようとしたりする態度を			生活や学習に活用しようとしたりして
	養う。			いる。
7. 図形の角を調べよう	〇三角形や四角形の内角の和について理	〇三角形の内角の和に	〇図形の角に着目し、三	〇三角形の内角の和が 180° である
[図形の角]	解し、それを用いて多角形の角の性質を考	ついて理解し、それを基	角形の内角の和につい	ことを基に、四角形や他の多角形の
	える力を養うとともに、機能的及び演繹的に	に四角形や他の多角形	ての性質を見出し、それ	性質を考えた過程を振り返り、多面
	考えるよさに気付き、今後の生活や学習に	の内角の和を求めること	を基に四角形や他の多	的に捉え検討してよりよいものを求
	生かそうとする態度を養う。	ができる。	角形の内角の和につい	めて粘り強く考えたり、数学のよさに
			て演繹的に考え、説明し	気付き学習したことを今後の生活や
			ている。	学習に活用しようとしたりしている。
8. 整数の性質を調べよ	〇偶数、奇数及び倍数、約数などについて	〇偶数、奇数及び倍数、	〇乗法及び除法に着目	〇整数の性質について、観点を決め
う	知り、整数の性質についての理解を深め、	約数について知り、それ	し、整数を偶数と奇数の	て類別したり、倍数と約数の集合を
[偶数と奇数、倍数と約	観点を決めて整数を類別したり数の構成に	らの意味について理解	二つの集合に類別して	捉えたりした過程や結果を振り返り、
数]	ついて考えたりする力を養うとともに、整数	するとともに、偶数と奇	捉えたり、倍数と約数の	多面的に捉え検討してよりよいもの
	を乗法や除法に着目して類別した過程を振	数を類別したり倍数と約	集合を捉えたりするとと	を求めて粘り強く考えたり、数学のよ
	り返り、そのよさに気付き今後の生活や学習	数を求めたりすることが	もに、整数の性質を図や	さに気付き学習したことを今後の生
	に活用しようとする態度を養う。	できる。	式を用いて考え表現して	活や学習に活用しようとしたりしてい
			いる。	る 。

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
9. 分数と小数、整数の	〇整数の除法の結果を分数で表すこと	〇整数の除法は分数を用い	〇分数の表現に着目	○整数の除法の結果を分数で表した
関係を調べよう	及び分数と小数、整数の関係について分	ると1つの数で表せることや、	し、分数を整数の除法	り、分数と小数、整数の関係を考えた
[分数と小数、整数の関	数の表現に着目してこれまで学習した分	分数と小数、整数の関係を理	の結果として捉えたり、	りした過程や結果を振り返り、多面的
係]	数の意味を捉えるとともに、除法の結果	解するとともに、a÷bをa/b、	分数と小数、整数の関	に捉え検討してよりよいものを求めて
	を分数で表したり分数と小数、整数の関	a/bをa÷bとみたり、分数を	係を捉えたりするととも	粘り強く考えたり、数学のよさに気付
	係について考えたりした過程を振り返り、	小数で表したり、小数、整数	に、それらを分数や式	き学習したことを今後の生活や学習
	そのよさに気付き今後の生活や学習に	を分数の形になおしたりする	を用いて考え表現して	に活用しようとしたりしている。
	活用しようとする態度を養う。	ことができる。	いる。	
10. 分数のたし算、ひき	〇分数の性質や異分母分数の加法及び	〇分数の性質や通分、約分	〇単位分数に着目し	〇通分や約分の意味や、異分母分
算を広げよう	減法の意味について理解し、通分、約分	の意味、異分母分数の加法	て、分数の相当及び大	数の加法及び減法の計算の仕方を、
[分数のたし算とひき算]	の仕方や計算の仕方を図や式を用いて	及び減法の意味について理	小関係や、異分母の分	図や式などを用いて考えた過程や結
	考える力を養うとともに、通分、約分の仕	解するとともに、通分や約分、	数の加減計算の仕方	果を振り返り、多面的に捉え検討して
	方や異分母分数の加減計算の仕方を分	異分母分数の加減計算がで	を図や式などを用いて	よりよいものを求めて粘り強く考えた
	数の性質や数学的表現を用いて考えた	きる。	考え表現している。	り、数学のよさに気付き学習したこと
	過程を振り返り、今後の学習に活用しよ			を今後の生活や学習に活用しようと
	うとしたりする態度を養う。			したりしている。
11. ならした大きさを考	〇平均の意味について理解し、測定した	〇平均の意味について理解	〇概括的に捉えること	〇平均の意味や、測定した結果を平
えよう	結果を平均する方法について図や式を	するとともに、測定した結果の	に着目して、測定した	均する方法を、図や式などを用いて
[平均]	用いて考える力を養うとともに、平均の意	平均を求めることができる。	結果を平均する方法を	考えた過程や結果を振り返り、多面
	味や平均を求める方法を数学的表現を		図や式などを用いて考	的に捉え検討してよりよいものを求
	用いて考えた過程を振り返り、今後の生		え表現している。	めて粘り強く考えたり、数学のよさに
	活や学習に活用しようとする態度を養う。			気付き学習したことを今後の生活や
				学習に活用しようとしたりしている。

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準	Ē	
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
12. 比べ方を考えよう	〇異種の2量の割合として捉えられる数量につ	〇異種の2量の割合とし	〇異種の2量の割合と	〇速さや単位量当たりの大きさの
(1)	いて、速さなど単位量あたりの大きさの意味及	て捉えられる数量につい	して捉えられる数量の	意味及び表し方などを、図や式な
[単位量当たりの大きさ]	び表し方について理解し、単位量当たりの大き	て、速さなど単位量あた	関係に着目し、目的に	どを用いて考えた過程や結果を振
	さを用いた比べ方や表し方について図や式を	りの大きさの意味及び表	応じて大きさを比べた	り返り、多面的に捉え検討してより
	用いて考える力を養うとともに、単位量当たりの	し方について理解し、速	り表現したりする方法	よいものを求めて粘り強く考えた
	大きさの意味や表し方などを数学的表現を用	さや単位量当たりの大き	を図や式などを用いて	り、数学のよさに気付き学習したこ
	いて考えた過程を振り返り、多面的に粘り強く	さを求めたり、比べたり	考え表現している。	とを今後の生活や学習に活用しよ
	考えたり、今後の生活や学習に活用しようとし	することができる。		うとしたりしている。
	たりする態度を養う。			
13面積の求め方を考え	〇四角形や三角形の面積の求め方を理解し、	〇平行四辺形、三角形、	〇平行四辺形、三角	〇平行四辺形、三角形、台形、ひし
よう	図形の構成要素に着目して面積の求め方を数	台形、ひし形などの面積	形、台形、ひし形など	形などの面積を、図や式などの数
[四角形と三角形の面	学的表現を用いて考える力を養うとともに、四	の求め方を理解し、公式	の構成要素や性質に	学的表現を用いて考えた過程を振
積]	角形や三角形の面積の求め方を考えた過程を	を用いて面積を求めるこ	着目し、既習の面積の	り返り、多面的に捉え検討してより
	振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生	とができる。	求め方を基にして、図	よいものを求めて粘り強く考えた
	活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。		や式を用いて面積の求	り、数学のよさに気付き学習したこ
			め方を考え、表現して	とを今後の生活や学習に活用しよ
			いる。	うとしたりしている。
14. 比べ方を考えよう	O2 つの数量の関係について、割合で比べる場	O2つの数量の関係につ	O2 つの数量の関係に	O2 つの数量の関係の比べ方や表
(2)	合があることや、その表し方についての百分率	いて、割合を用いた比べ	着目し、倍の意味を基	し方などを、図や式などを用いて考
[割合]	を理解し、割合を用いた比べ方や百分率の表し	方や百分率の表し方な	に、割合を用いた比べ	えた過程や結果を振り返り、多面的
	方について図や式を用いて考える力を養うとと	どを理解し、割合を用い	方や表し方を図や式な	に捉え検討してよりよいものを求め
	もに、割合を用いた比べ方や百分率の表し方な	て比べたり、割合や百分	どを用いて考え表現し	て粘り強く考えたり、数学のよさに
	どを数学的表現を用いて考えた過程を振り返	率を求めたりすることが	ている。	気付き学習したことを今後の生活
	り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学	できる。		や学習に活用しようとしたりしてい
	習に活用しようとしたりする態度を養う。			る 。

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価が		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
15. 割合をグラフに	〇円グラフと帯グラフの特徴とそれらの用い方や、統計的	〇円グラフと帯グラフ	〇目的に応じてデータ	〇統計的な問題解決の方法に
表して調べよう	な問題解決の方法について理解し、目的に応じてデータを	の特徴とそれらの用	を集めて分類整理し、	ついて、数学的に表現・処理し
[帯グラフと円グラフ]	集めて分類整理し、データの特徴や傾向に着目し、問題を	い方や、データの収	データの特徴や傾向に	た過程や結果を振り返り、多面
	解決するために適切なグラフを選択して判断し、その結論	集や適切な手法の選	着目し、問題を解決す	的に捉え検討してよりよいもの
	について多面的に捉え考察する力を養うとともに、統計的	択などを理解し、統	るために適切なグラフ	を求めて粘り強く考えたり、数学
	な問題解決の方法について数学的表現を用いて考えた過	計的な問題解決をす	を選択して判断し、そ	のよさに気付き学習したことを
	程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学	ることができる。	の結論について多面的	今後の生活や学習に活用しよう
	習に活用しようとしたりする態度を養う。		に捉え考察している。	としたりしている。
16. 変わり方を調べ	〇伴って変わる 2 つの数量について、表や式、図を用いて	〇伴って変わる 2 つ	〇伴って変わる 2 つの	〇伴って変わる2つの数量につ
よう(2)	変化や対応の特徴を調べたり表したりすることができるよう	の数量について、表	数量について、表や	いて、表や式、図を用いて考え
[変わり方調べ]	にするとともに、伴って変わる2つの数量を見出して、それ	や式、図を用いて変	式、図を用いてその関	た過程や結果を振り返り、多面
	らの関係に着目し、表や式、図を用いて変化や対応の特徴	化や対応の特徴を調	係を説明している。	的に捉え検討してよりよいもの
	について考える力を養うとともに、伴って変わる2つの数量	べ、式に表すことがで		を求めて粘り強く考えたり、数学
	の変化や対応の特徴を数学的表現を用いて考えた過程を	きる。		のよさに気付き学習したことを
	振り返り、そのよさに気付き今後の生活や学習に活用しよ			今後の生活や学習に活用しよう
	うとする態度を養う。			としたりしている。
17. 多角形と円をく	〇正多角形の性質や円周率の意味について理解し、図形	〇正多角形の性質や	〇図形を構成する要素	〇円と関連させて正多角形の性
わしく調べよう	を構成する要素や図形間の関係に着目し、構成の仕方を	円周率の意味につい	や図形間の関係に着	質や書き方を考えたり、円周率
[正多角形と円周の	考えたり図形の性質を見出したりする力を養うとともに、円	て理解し、円を使って	目し、正多角形の性質	について帰納的に考えたりした
長さ]	と関連させて正多角形の性質を捉えたり、円周率について	正多角形をかいた	を見出したり、円を使っ	過程を振り返り、多面的に捉え
	帰納的に考察したりした過程を振り返り、そのよさに気付き	り、円周率を使って直	た正多角形のかき方を	検討してよりよいものを求めて
	今後の生活や学習に活用しようとする態度を養う。	径や円周の長さを求	考えたり、円周率が一	粘り強く考えたり、数学のよさに
		めたりすることができ	定であることを捉えたり	気付き学習したことを今後の生
		る 。	して、説明している。	活や学習に活用しようとしたりし
				ている。

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
18. 立体をくわしく調べ	〇角柱、円柱の意味や性質について理解し、図	〇角柱、円柱の意味や	〇図形を構成する要素	〇既習の図形を角柱として捉え直
よう	形を構成する要素に着目して、図形の性質を見	性質について理解し、角	に着目し、角柱、円柱	したり、角柱、円柱の性質を考察し
[角柱と円柱]	出したり図形の展開図のかき方について考えた	柱、円柱の展開図をかい	の構成要素やそれらの	たりした過程や結果を振り返り、多
	りする力を養うとともに、図形を角柱、円柱とし	て構成することができ	位置関係の性質を見	面的に捉え検討してよりよいものを
	て考察した過程を振り返り、既習の図形を角柱	న 。	出し、その性質を基に	求めて粘り強く考えたり、数学のよ
	として捉え直したり、今後の生活や学習に活用		既習の図形を捉え直	さに気付き学習したことを今後の生
	しようとしたりする態度を養う。		し、説明している。	活や学習に活用しようとしたりして
				いる。

令和3年度 評価規準 学校名:江戸川区立西小岩小学校

教科	算数	学年	第 6 学年
----	----	----	--------

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
1. つり合いのとれ	○対称な図形の観察や構成を通してその意味や	〇線対称、点対称な図形	〇図形を構成する要素	〇対称な図形について、数学的に
た図形を調べよう	性質を理解し、図形を構成する要素および図形間	の意味や性質について理	および図形間の関係に	表現・処理したことを振り返り、多面
[対称な図形]	の関係に着目し、構成の仕方を考察したり図形の	解し、線対称、点対称な図	着目し、対称等の観点	的に捉え検討してより良いものを求
	性質を見出したりする力を養うとともに、図形を対	形をかくことができる。	で既習の図形を見直し	めて粘り強く考えたり、数学のよさ
	称という観点で考察した過程を振り返り、多面的に		その性質を捉えて説明	に気付き学習したことを今後の生
	粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用しよう		し、図形に対する見方	活や学習に活用しようとしたりして
	としたりする態度を養う。		を深めている。	いる。
2. 数量やその関係	○具体的な場面について、数量の関係を文字を用	〇数量の関係を言葉や	〇文字にいろいろな数	〇数量の関係を表す式について、
を式に表そう	いて式で一般的に表すことを理解し、文字に数を	ロ、Oなどの代わりに、文	を当てはめられること	数学的に表現・処理したことを振り
[文字と式]	当てはめて調べることができ、数学的表現である	字を用いて式に表すことを	を基に、数量の関係を	返り、多面的に捉え検討してより良
	式を活用する力を養うとともに、数学的に表現・処	理解し、数量の関係を文	文字を用いた式で表す	いものを求めて粘り強く考えたり、
	理したことを振り返り、多面的に粘り強く考えたり、	字を用いて式に表したり、	ことの簡潔さや一般性	数学のよさに気付き学習したことを
	今後の生活や学習に活用しようとしたりする態度を	式から具体的な場面に表	について考えている。	今後の生活や学習に活用しようとし
	養う。	したり、文字に数を当ては		たりしている。
		めて調べたりすることがで		
		きる。		
3. 分数のかけ算を	○分数×整数、分数÷整数も含めて、分数の乗法	〇分数の乗法の意味や、	〇乗数が分数の場合	〇乗数が分数の場合の乗法の意
考えよう	の意味について理解し、その計算の仕方を図や式	分数の乗法についても整	の乗法計算の仕方に	味を捉え直したことや、その計算方
[分数のかけ算]	を用いて考える力を養うとともに、計算の仕方を乗	数の場合と同じ関係や法	ついて、乗法の性質や	法について乗法の性質や図や式な
	法の性質や数学的表現を用いて考えた過程を振り	則が成り立つことを理解す	比例の考えを基に考	どを用いて考えた過程を振り返り、
	返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学	るとともに、分数の乗法の	え、数直線や式などを	多面的に捉え検討してよりよいもの

習に活用しようとしたりする態度を養う。	計算ができる。	用いて表現している。	を求めて粘り強く考えたり、数学の
			よさに気付き学習したことを今後の
			生活や学習に活用しようとしたりし
			ている。

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規	 準	
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
4. 分数のわり算を考え	〇分数の除法の意味について理解し、	〇分数の除法の意味	〇除数が分数の場合の	〇除数が分数の場合の除法の意味を捉え
よう	その計算の仕方を図や式を用いて考え	や、分数の除法につい	除法計算の仕方につい	直したことや、その計算方法について除法
[分数のわり算]	る力を養うとともに、計算の仕方を除法	ても整数の場合と同じ	て、除法の性質や比例	の性質や図や式などを用いて考えた過程を
	の性質や数学的表現を用いて考えた	関係や法則が成り立つ	の考えを基に考え、数直	振り返り、多面的に捉え検討してよりよいも
	過程を振り返り、多面的に粘り強く考え	ことを理解するととも	線や式などを用いて表	のを求めて粘り強く考えたり、数学のよさに
	たり、今後の生活や学習に活用しようと	に、分数の除法の計算	現している。	気付き学習したことを今後の生活や学習に
	したりする態度を養う。	ができる。		活用しようとしたりしている。
分数の倍	〇既習の倍の意味をもとに基準量や比	〇基準量や比較量が	O2量の関係に着目し、	〇基準量や比較量が分数の場合の倍の意
	較量が分数の場合の倍の意味につい	分数の場合の倍の意	基準量や比較量が分数	味について、整数倍や小数倍の意味を統合
	て理解し、倍の意味を図や式を用いて	味について理解し、説	の場合の倍の意味につ	的に捉えたり、そのよさに気付き今後の生
	考える力を養うとともに、整数や小数、	明している。	いて図や式などを用いて	活や学習に活用しようとしたりしている。
	分数の倍の意味を統合的に捉えたりこ		考え表現している。	
	れまでの倍の学習を今後の生活や学			
	習に活用しようとしたりする態度を養			
	う。			

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準	<u> </u>	
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
5. 割合の表し方を調	O2つの数量の割合を表す方法として、比に	〇比の意味や表し方、比	〇日常の事象における数	〇日常の事象を目的に応じて比で捉
べよう	ついて理解し、既習の割合と関連付け、数量	の相等の意味を理解し、	量の関係に着目し、比を	えたことや数学的に表現・処理したこ
[比]	の関係の比べ方を考える力を養うとともに、日	2つの量の関係を調べて	用いた関係の比べ方を既	とを振り返り、多面的に捉え検討して
	常の事象を目的に応じて比で捉えることや数	比で表したり、等しい比	習の割合と関連付けて統	よりよいものを求めて粘り強く考えた
	学的表現を用いて考えた過程を振り返り、多	をつくったりすることがで	合的に捉え、割合の適用	り、数学のよさに気付き学習したこと
	面的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習	きる。	場面で考え方を工夫して	を今後の生活や学習に活用しようと
	に活用しようとしたりする態度を養う。		いる。	したりしている。
6. 形が同じで大きさ	〇拡大図や縮図の観察やかくことを通して拡	〇拡大図、縮図の意味	〇図形を構成する要素及	〇既習の図形を捉え直したことや数
がちがう図形を調べ	大図、縮図の意味や性質について理解し、図	や性質について理解し、	び図形間の関係に着目	学的に表現・処理したことを振り返
よう	形を構成する要素及び図形間の関係に着目	対応する辺の長さや角	し、合同の意味や比の考	り、多面的に捉え検討してよりよいも
[拡大図と縮図]	し、構成の仕方を考察したり図形の性質を見	の大きさを求めたり、拡	えを基に、拡大図、縮図の	のを求めて粘り強く考えたり、数学の
	出したり力を養うとともに、拡大図や縮図とい	大図、縮図をかいたりす	意味や性質、作図の仕方	よさに気付き学習したことを今後の
	う観点で考察した過程を振り返り、多面的に	ることができる。	について考え説明し、図形	生活や学習に活用しようとしたりして
	粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用し		に対する見方を深めてい	いる。
	ようとしたりする態度を養う。		る 。	
7. 円の面積の求め	〇円の面積の計算による求め方について理	〇円の面積について、求	〇図形を構成する要素な	〇円の面積の求め方を簡潔かつ的
方を考えよう	解し、図形を構成する要素などに着目し、図	め方や計算で求められ	どに着目し、円などの面積	確な表現として公式として導いた過
[円の面積]	形の面積について考える力を養うとともに、円	ることを理解し、円の面	の求め方を図や式を用い	程を振り返り、多面的に捉え検討して
	の面積の求め方を簡潔かつ的確な表現として	積を求める公式を用い	て考え、説明している。	よりよいものを求めて粘り強く考えた
	公式として導いた過程を振り返り、多面的に	て円などの面積を求める		り、数学のよさに気付き学習したこと
	粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活用し	ことができる。		を今後の生活や学習に活用しようと
	ようとしたりする態度を養う。			したりしている。

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
8. 角柱と円柱の体	○角柱や円柱の体積の計算による求め方につ	〇角柱や円柱の体積は底	〇図形を構成する要素に	〇角柱や円柱の体積の求め方を簡
積の求め方を考え	いて理解し、図形を構成する要素に着目し、図	面積×高さにまとめられる	着目し、角柱や円柱の体	潔かつ的確な表現として公式として
よう	形の体積について考える力を養うとともに、角	ことを理解し、角柱や円柱	積の求め方について、直	導いた過程を振り返り、多面的に捉
[角柱と円柱の体	柱や円柱の体積の求め方を簡潔かつ的確な表	の体積を公式を用いて求	方体の体積の求め方から	え検討してよりよいものを求めて粘り
積]	現として公式として導いた過程を振り返り、多面	めることができる。	類推し、図や式を用いて	強く考えたり、数学のよさに気付き学
	的に粘り強く考えたり、今後の生活や学習に活		考え、説明している。	習したことを今後の生活や学習に活
	用しようとしたりする態度を養う。			用しようとしたりしている。
9. およその面積と	○身の回りにあるものの形について、その概要	〇身の回りにあるものの	〇図形を構成する要素に	〇既習の面積や体積の学習に基づ
体積を求めよう	を捉えることでおよその面積や体積を求められ	形について、その概要を	着目し、身の回りにあるも	き概形などを用いて目的に応じて能
[およその面積と体	ることを理解し、図形を構成する要素に着目し、	捉えることでおよその面積	のの形について、概要を	率よく測定した過程を振り返り、多面
積]	面積や体積の求め方を筋道を立てて考える力	や体積を求められることを	捉えて、およその面積や	的に捉え検討してよりよいものを求
	を養うとともに、既習の面積や体積の学習に基	理解し、面積や体積を求	体積の求め方を筋道を立	めて粘り強く考えたり、数学のよさに
	づき概測などを用いて目的に応じて能率よく測	めることができる。	てて考えている。	気付き学習したことを今後の生活や
	定した過程を振り返り、今後の生活や学習に活			学習に活用しようとしたりしている。
	用しようとしたりする態度を養う。			
10. 比例の関係を	〇比例や反比例の関係について理解し、伴って	〇比例や反比例の意味や	〇伴って変わる2つの数	〇数学的に表現・処理したことを振り
くわしく調べよう	変わる2つの数量やそれらの関係に着目し、表	性質、表やグラフの特徴	量を見いだして、それらの	返り、多面的に捉え検討してよりよい
[比例と反比例]	や式、グラフを用いて変化や対応の特徴を見出	について理解し、比例や	関係に着目し、目的に応じ	ものを求めて粘り強く考えたり、数学
	して2つの数量の関係を考察する力を養うととも	反比例の関係にある2つ	て表や式、グラフを用いて	のよさに気付き学習したことを今後の
	に、比例や反比例の関係を数学的表現を用い	の数量の関係を表や式、	それらの関係を表現して	生活や学習に活用しようとしたりして
	て考えた過程を振り返り、今後の生活や学習に	グラフに表したり、比例の	変化や対応の特徴を見出	いる。
	活用しようとする態度を養う。	関係を用いて問題解決し	して問題解決に活用して	
		たりすることができる。	いる。	

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規	準	
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
11. 順序良く整理し	〇順列や組み合わせについて、落ちや重なりのな	〇順列や組み合わせ	〇事象の特徴に着目し、順	〇順列や組み合わせについて、
て調べよう	いように、起こり得る場合を順序良く整理するため	について、落ちや重な	列や組み合わせについて、	図や表などを用いて工夫をしなが
[並べ方と組み合わ	の図や表などの用い方を理解し、事象の特徴に着	りのないように調べる	落ちや重なりのないように	ら、落ちや重なりのないように調
せ方]	目し、順序よく整理する観点を決めて落ちや重なり	には、ある観点に着目	図や表を適切に用いたり、	べた過程を振り返り、多面的に捉
	なく調べる方法を考察する力を養うとともに、筋道	したり、図や表などに	名称を記号化して端的に表	え検討してよりよいものを求めて
	を立てて考えを進めていこうとする態度や、数学的	かき表したりするとよい	したりして、順序よく筋道を	粘り強く考えたり、数学のよさに気
	表現を用いて落ちや重なりのないように調べた過	ことを理解している。	立てて考えている。	付き学習したことを今後の生活や
	程を振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の			学習に活用しようとしたりしてい
	生活や学習に活用しようとしたりする態度を養う。			న 。
12. データの特徴	〇代表値の意味や求め方、度数分布表や柱状グ	〇代表値の意味や求	〇目的に応じてデータを集	〇統計的な問題解決の過程につ
を調べて判断しよう	ラフ、統計的な問題解決の方法について理解し、	め方、度数分布表や柱	めて分類整理し、データの	いて、数学的に表現・処理したこと
[データの調べ方]	目的に応じてデータを集めて分類整理し、データの	状グラフ、目的に応じ	特徴や傾向に着目し、代表	を振り返り、多面的に捉え検討し
	特徴や傾向に着目し、代表値などを用いて問題の	てデータを収集したり	値などを用いて問題の結論	てよりよいものを求めて粘り強く
	結論について判断したり、その妥当性について考	適切な手法を選択した	について判断するとともに、	考えたり、数学のよさに気付き学
	察したりする力を養うとともに、統計的な問題解決	りするなど統計的な問	その妥当性について批判的	習したことを今後の生活や学習に
	の過程について、数学的に表現・処理をしたことを	題解決の方法について	に考察している。	活用しようとしたりしている。
	振り返り、多面的に粘り強く考えたり、今後の生活	理解している。		
	や学習に活用しようとしたりする態度を養う。			
13. 算数の仕上げ	〇6年間の算数の学習を振り返りながら、本単元の	〇数量や図形などにつ	〇日常の事象を数理的に捉	〇数学的活動の楽しさや数学の
をしよう	学習に取り組みことを通して、数量や図形などにつ	いての基礎的・基本的	え見通しをもち筋道を立て	よさに気付き、学習を振り返って
[算数のしあげ]	いての基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習	な概念や性質などを理	て考察する力、基礎的・基	よりよく問題解決しようとしたり、
	得しこれらを活用して問題を解決するために必要	解するとともに、日常の	本的な数量や図形の性質	算数で学んだことを生活や学習に
	な数学的な数学的な思考力、判断力、表現力等を	事象を数理的に処理	などを見出し統合的・発展	活用しようとしたりしている。
	育むとともに、数学のよさに気付き、算数と日常生	する技能を身に付けて	的に考察する力、数学的な	
	活との関連についての理解を深め、算数を主体的	いる。	表現を用いて事象を簡潔・	
	に生活や学習に生かそうとしたり、問題解決の過		明瞭・的確に表したり目的に	

程や結果を評価・改善しようとしたりするなど、数学	応じて柔軟に表したりする
的に考える資質・能力を育成する。	力を身に付けている。

単元名	単元の到達目標	単元のまとまりの評価規準		
	(小単元のねらい)	知識•技能	思考·判断·表現	主体的に学習に取り組む態度
算数卒業旅行	〇中学校の数学の内容にふれることを通して、算数・数学			
	に関する興味を広げる。			
	○他の国の算数に興味をもち、算数・数学に関する興味を			
	広げる。			
	〇和算にふれることを通して、算数・数学に関する興味を			
	広げる。			
	〇クイズやパズルを通して、考える楽しさや算数の持って			
	いるおもしろさにふれる。			